

ふじのくにのデジタル化事業

つながる・支えあう

県庁入口エリアのデジタル化 【概算費用 6,600千円】

県政情報発信エリア（東館2階 県民サービスセンター）へ
デジタル機器を導入

⇒ デジタル技術を活用し、
県民サービスセンターの
コンシェルジュ機能の強化
に向けた実証

（取組内容）

- ・タッチパネル式ディスプレイ
- ・公文書等データ資料検索用端末
（電子化+電子閲覧化） など



<関係課>

広聴広報課、行政経営課、資産経営課、
法務文書課、林業振興課

<今後の方向性>

- ・県民サービスの向上
- ・県政に対するトレンド等のデータ蓄積と反映

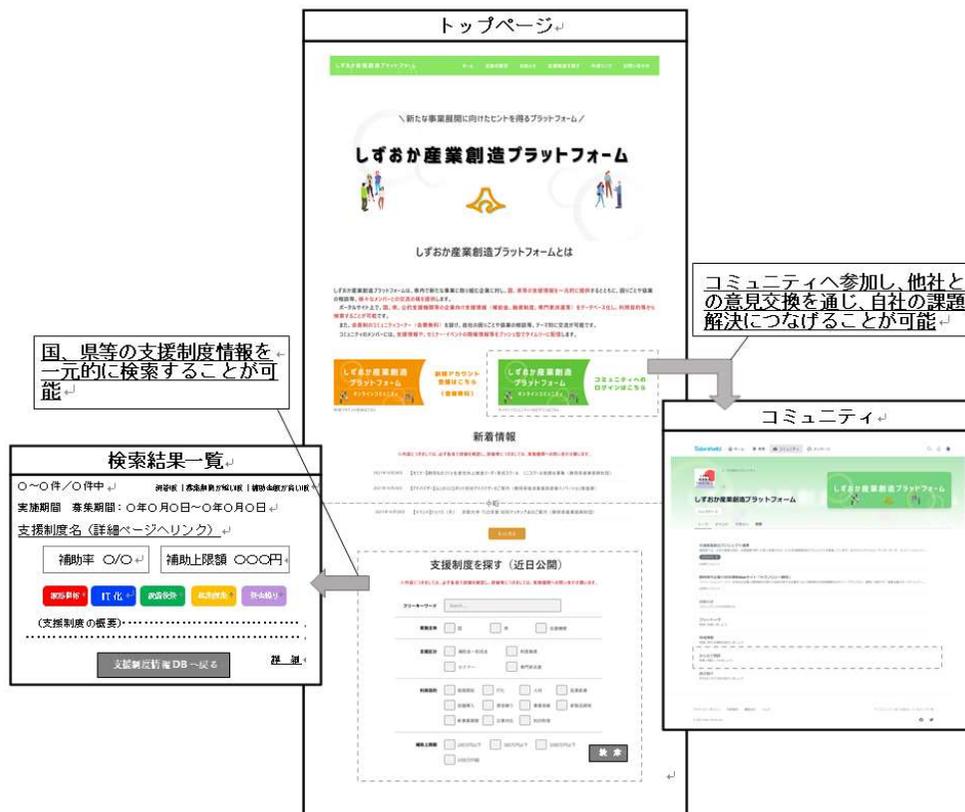


産業創造コミュニティプラットフォームの創設

【概算費用 5,000千円】

様々な業種が協業できる場、新価値創造の場をオンライン上に創設

⇒ 非接触・ワンストップ化の実現による利用者の利便性向上に向けた実証



(取組内容)

- 支援制度（補助金等）の情報を掲示
- 事業者間、事業者と公的機関の間での情報交換・交流を可能とする場
- イベント配信 など

<関係部局等>

経済産業部、県産業振興財団、金融機関、県内企業 など

<今後の方向性>

県内企業と県内外ベンチャー等との協業を促進し、新ビジネスの創出や県内経済の活性化へつなげる

ふじのくにのデジタル化事業

暮らす・楽しむ／働く・磨く

漁船操業情報を利用した海底地形図作成

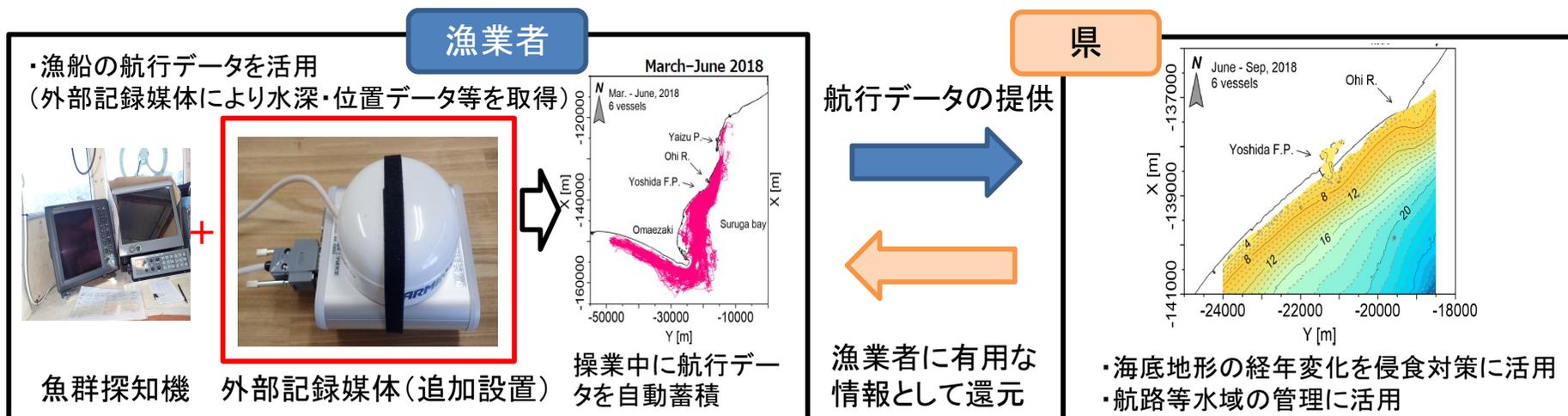
【概算費用 5,000千円】

南駿河湾漁協(御前崎港)の漁船に機器を設置し、水深や位置データ等を取得することで海底地形図及び漁業支援データ(水温マップ)を作成

⇒ 漁業者と連携し新たな手法の確立に向けた実証

(取組内容)

- ・航行データ、衛星データを活用した海底地形図、水温マップの作成
- ・データ自動送受信方法の検討



＜関係部局等＞

交通基盤部、経済産業部
南駿河湾漁協 等

＜今後の方向性＞

- ・低コストかつ広範囲、高頻度に浸水状況を把握する手法の確立
- ・エビデンスに基づく漁業による産業の活性化

ふじのくにのデジタル化事業

暮らす・楽しむ／働く・磨く

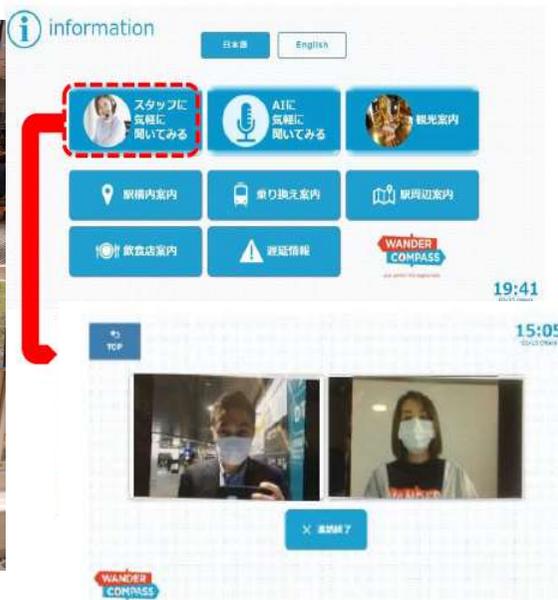
交通結節点における交通情報等の発信

【概算費用 8,000千円】

熱海駅、三島駅、伊豆高原駅にタッチパネル型端末を設置し、来訪者等に対し、公共交通利用の円滑化及び地域振興(観光地のPR等)に寄与する情報を発信

⇒ デジタルツールを活用した交通・観光需要の分析の実証

リモートコンシェルジュによる情報提供



(取組内容)

- ・ AIチャットボットによる自動対応
- ・ 遠隔接客(有人)による情報提供
- ・ たび診断によるデータ取得と分析

<関係部局等>

交通基盤部、スポーツ・文化観光部
市町、地元交通事業者(伊豆急、伊豆箱根鉄道、東海自動車など)

<今後の方向性>

観光MaaS (Izukoなど) との将来的な連携も視野

浄水場の残留塩素濃度を与える外的要因調査

【概算費用 8,500千円】

寺谷浄水場(企業局西部事務所：磐田市)にて、データ(水温、気温、日光照射量等)に基づき次亜塩素酸ナトリウム(消毒用薬剤)の注入率を決定

⇒ 薬剤注入率の決定の自動化に向けた実証(取組内容)

- ・ 気候データ等を収集
- ・ 収集データを元に、薬剤の注入率を自動算出



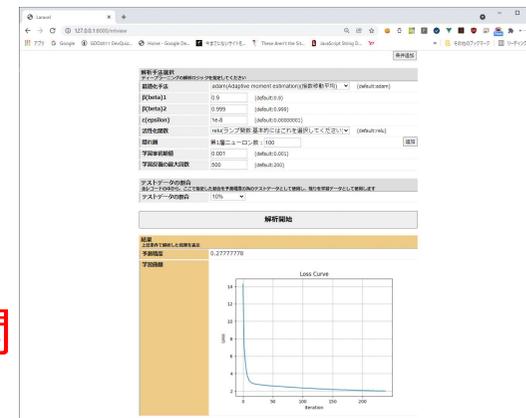
データ収集装置(日光照射計等)

<関係部局等>

企業局、各水道事業者(市町)

<今後の方向性>

安全・安心、安定した水供給の全県展開



収集データをシステムで解析

図書館のデジタル化

【概算費用 12,000千円】

デジタルツールを図書館機能、図書館業務に活用

⇒ 県民の利便性向上に繋がるツールを中央図書館に導入し実証
新県立中央図書館の整備へ反映

(取組内容)

- ・ 図書貸出カードの電子化（スマホ表示）
- ・ 電子図書館の導入（電子書籍の貸出）
- ・ 自治体発行紙の自動収集



<関係部局>

教育委員会事務局、広聴広報課

<今後の方向性>

- ・ 他の図書館や学校等との連携
- ・ アフターコロナ時代を見据えたサービス

